



第 35 号

行 所 場 会  
水 区 竜 ケ 馬 会  
沢 区 高 校 同 窓 会  
水 沢 高 校 同 窓 会  
☎0197-24-3151

昨平成十八年は、例年にも増して、実に様々な、且つ、大変考えさせられる事態が国中に見られた年でしたが、同窓生諸氏には大過なくお元気にお過ごしのことと存じます。

さて、アテルイをその縁として当地奥州市にも関係の深い京都は清水寺の森貫主が昨年揮毫された文字は「命」でした。確かにこのところ、とても考えられないような命に関する事件がマスコミを多々賑わせて、日本の国は一体どうなっているのか、否、どうなっているのかと心穏やかではありません。



### 真の文武両道を

同窓会長 及川 源悦郎

このような状態を招いた原因はいくつかあるのでしょうか、安倍内閣はその一つとして教育の在り方について考え直すことの必要性を強調。新基本法を成立させましたが、確かに現在の学校教育の在り方には、直接関わっていない者でも案じざるを得ません。昔から「文武両道」が、教育目標の根幹として実践されてきたようですが、現在、それが守られているのでしょうか。答えはノーと言わざるを得ません。と言うのもつい最近、

高校での必修科目の未履修問題がマスコミを賑わしたことが、一例として挙げられます。ルールをきちんと守ることを教える場としての教育現場で、それに反する事態が生じたことは、大学等受験者の合格率を高める為のやむを得ない方策だったとしても、将来の日本を考える時に決して許されることではないと思います。彼等が成人し、日本の社会を形成していく中心となる時に、世界史や日本史を学ぶことがなかった為に、ちゃんとした歴史観を持っていないとしたら、よ

りグローバル化が進む中、日本は一体どうなるのでしょうか。これは杞憂に過ぎないのでしょうか。

「文」の誤った偏重に加えて、「武」の偏りもクラブ活動に見られます。最近の各種大会の結果を見ますと、優勝校或いは上位校が一定の学校に限られてしまっています。何、それはよく練習ししっかり鍛えたチームがそうなんだ。口惜しかったらお前等もちゃんと練習しろよ」と言われるのが落ちかもしれないが、はたしてそれだけなのでしょうか。単

なる噂に過ぎないとは思いますが、日常午後は授業に出ず練習しているとか。本当にこれいいのでしょうか。

まもなく創立百周年を迎える水高が、真の「文武両道」の学舎として存在し、その結

## 平成十八年度同窓会総会

平成十八年度水高同窓会総会が、八月十二日(土)午後五時より水沢グランドホテルにおいて開催されました。例年通り、八月の第二土曜日、好天の下での開催となりました。当日は四十二名とほぼ例年並みのご参加を得て、恩師として遠山晋一郎先生(英語、昭和四五〜四八)高橋光先生(保健体育、昭和四八〜五七)、講演会の講師として中島真理さん(昭和五二年水高卒)をお招きし、東京支部、仙台支部、盛岡支部、江刺支部および前

水沢支部から出席していただきました。及川源悦郎会長、佐々木繁夫校長の挨拶の後、協議に入り、平成十七年度の事業報告ならびに決算、平成十八年度の事業計画及び予算が審議され、承認されました。その他に故河口洋同窓会監事の後任として、鎌田卓也氏が選出されたこと、校歌・応援歌CDを制作し、新入生や希望する同窓生に配布することが、事務局より報告されております。

総会の後は、中島真理さんから「希望をつくる」という演題で講演をしていただきました。窓のない無菌室での三ヶ月半に及ぶ闘病生活をとおして「ものを考える姿勢、物事をどう考えることができるか」ということが人間の究極の財産ではないか。毎日毎日、希望をつくりだすことができるではないか」という言葉が講演

果一人でも多くの後輩諸君が希望の進路に進み、甲子園を始め、全国各地で高らかに校歌を歌える日を一日でも多く迎えるように切に願う次第です。それこそが、我が母校への最大の真の祝となることでありましょう。

を聴いている人々に大いに勇気を奮い起こさせてくれました。

講演会に引き続き懇親会が開かれ、恩師としてお招きした二名の先生から、当時を回想しながら懐かしいお話を伺いました。遠山先生は水高在職中男子バレー部をインターハイに出場させ、現在も岩手県バレーボール協会会長として活躍されており、高橋光先生は硬式野球部監督として県内屈指のチームに育て上げ、昭和五十五年夏の甲子園大会岩手県予選で決勝まで勝ち進み、決勝では借しくも一点差で涙をのんだものの、岩手県高校野球球史に残る名勝負をしました。楽しい時間はあっという間に過ぎるので、宴も佳境に入ったところで来年の再会と母校の発展を祈念して、全員で校歌を歌い、別れを惜しみつつ散会となりました。



高橋先生 遠山先生 中島さん





「水高この一年」

校長 佐々木 繁 夫

今年の冬は一体どうなりましたか。昨年二十数年ぶりという厳しい冬だったのが、今年はずっと逆になっていきます。2月に入ったこの時点でも、奥州市の道路には全く雪はありません。例年なら、学校でもグラウンドは3月後半まで使えませんが、今年も霜柱も立たず、野球部はしっかりとグラウンドで練習を行っています。この通りとでも過ごしやすい冬を経験している奥州市ですが、皆様の地方ではどのような冬を過ごされているでしょうか。この暖かさも地球温暖化の影響であれば、暖かいといっただけでばかりもいられないでしょう。むしろ、夏がどうなるかが逆に心配になってきます。奥羽山脈にはしっかりと雪が積もり、胆沢扇状地、胆沢平野を豊かな水で満たし、実り豊かな秋を迎えることが出来ることを願っています。さて、本校の1年間を振り返ってみますと、春にはインフルエンザが大流行し、ついには学校閉鎖という事態になりました。それが県内の大流行のきっかけになったようで、小中高様々な学校で同じように学校閉鎖まで行ってしまったのはまいました。また、全国的な話題になった必修科目の未履修の問題は本校も該当しており、同窓生の皆様には学校の信用を落とすことになってしまいました。誠に恐縮しております。本校では3年生理系の生徒がその対象となり、地歴3科目(世界史、日本史、地理)の中からもう1科目を履修しなければならぬということになりました。受験前で生徒諸君には負担

と心配をかけることになってしまいました。が、落ち着いて対応してくれ、無事履修も済ませ、センターテストではほぼ影響を感じさせないようにそれぞれの実力を発揮してくれましたので、一安心をします。また、運動部、文化部、各種研究発表等では多くの生徒が素晴らしい実績をあげ、まさに水高生ここにありと胸を張って皆様に後輩達の活躍を報告させていたかったです。今後も変わらぬご声援をお願い申し上げます。ところで、水高創立100周年も次第に近づいてきました。来年度はいよいよ実行委員会を正式に立ち上げることにいたします。記念事業としては、学校側からお願いとして、運動部の雨天室内練習場を建てただけは文武両道を目指しがんばっている生徒にとって大変ありがたいことだと考えております。何かがあるでしょうか。80周年記念事業の際には、皆様の暖かいご寄付により同窓会館(志学館)を建設していただきました。ここは300人は入るホールですので、様々な会議や講演会、そして毎日の学習、自習の部屋として空くことなく活用させていただいております。改めて同窓生の皆様に感謝申し上げます。今後、実行委員会を通じ、皆様にご相談やお願いをすることになろうかと思っております。その節にはどうかよろしくご支援ください。どうぞよろしくお願い申し上げます。終わりに、水高同窓会員の皆様の益々のご活躍ご健勝を祈念し挨拶とさせていただきます。

支部だより

盛岡支部総会

新しい会長に、鈴木伸一氏選出

平成18年の盛岡支部総会は、7月14日午後6時から岩淵副会長の開会で始まりました。盛岡支部総会は、平成2年に再開されてから今回で17回目になります。初代会長の石川敬治郎先輩が逝去されたため、一同黙祷をささげることから始まり、会長選出が行われ、昭和26年卒の鈴木伸一先輩が出席者全員の賛同の中で選出されました。新会長には今後よろしくお願いしたいと思います。当日は高校野球の試合前日ということもあって、大いにその話題で盛り上がり、募金の声も誰とも無くわきあがり、募金に皆さんに協力していただきました。本当にありがとうございます。今後は定例化することになりましたが、総会も結果が出る前に設定しなければと思っています。

年々参加が減ってきていますので、再度検討したいと考えています。案内は、かつての参加者のみに案内状を送付してありますので、案内状が送付されていない方がおられましたらぜひお誘いいただきたく思います。やはり、ある程度の年齢になったら「いつかみよう同窓会」がキーワードかな。また毎年かさねてご参加いただいている校長先生をはじめ同窓会の担当の先生、そして同窓会長の及川先輩にはお忙しいところ出席いただき本当にありがとうございます。



うございました。

(盛岡支部 小野功)

SSH事業について

平成十五年度に文部科学省より指定を受けたスーパーサイエンスハイスクール(SH)事業は、今年度改めて平成二十二年度までの五年間の指定を受けました。今年度も研究機関における研修や、研究者による講演会・出前講義などさまざまな事業に取り組んでまいりました。特に、十月七日(土)実施の「本校卒業の大学生による講演会」は同窓会からのご支援のもと、平成十六年卒業の佐藤洋介君、大内恵莉さん、板倉隆太君を招き、一年生全員を対象に有意義なお話をいただきました。SSH指定通算四年目となる今年度は、「いわてユネスコ賞科学賞(フィールドワークの取り組み)」、「U・20プログラミングコンテスト全国最優秀賞(理数科三年生)」、「岩手県高等学校理数科課題研究発表会最優秀賞(理数科二年超伝導班) 受賞など着実にその成果をあげております。今年度まで理数科を中心に実施してきたSSH事業ですが、平成十九年度からは「くり募集」により入学学生を迎えることになり、第一学年では普通科と理数科を区別せずに全員共通の教育課程を履修することになりました。このため、来年度からは規模を拡大し、第一学年全員を対象にしたSSH事業の展開を検討中です。全国各地で活躍されている同窓生の情報などございましたら担当まで一報いただければと思いますし、本校から講演会や実習などの依頼があった場合、快く引き受けていただければ幸いです。どうぞよろしくお願い致します。(担当 中村智和)



牛の直腸解剖



超伝導についての発表

第九の会 卒業後50年 90名が集う

昭和32年(第9回)卒業生の会(第九の会)が、平成18年6月8日(9日)、90名参加のもと、盛大に開催されました。第9(ダイク)の会とは、ベートーヴェン第九交響曲の「第九」を拝借し同期会の愛称としたものです。

今回の集いは9回目になります。卒業後50年、母校を訪ねよう!」をテーマとし、盛岡地区の会員15名(代表幹事大内豊)が中心となって、一年以上前から周到な準備をしました。これまでで一番多い90名の参加となりました。

6月8日午後1時、観光組(40名)が盛岡駅西口に集合し、小岩井農場を見学。夕方、新鉛温泉愛隣館に到着し、直接集合組(50名)と合流。入浴後、記念写真撮影、物故者(30余名)黙祷の後は、盛大な懇親会となり、その後2次会、3次会と続き、徹夜で語り合った組もありました。翌朝、バス2台で母校を訪問し、佐々木校長先生以下関係職員の歓迎を受け、水高育英会に対し寄付金(金20万円)を贈呈しました。そのあと、水高の現状と課題について詳しい説明があり、引き続き在校生応援団による伝統の応援音頭とエールが披露されると、一瞬にして50年前にタイムスリップしました。戦後のモノ不足時代に、兵舎のごとき学び舎に、汚れたカバンに弁慶足駄や初々しいセーラー服で、高校3年間の青春を謳歌したことも母校の歴史と伝統が脈々と受け継がれていることに、一同感銘を受けました。雨降るキャンパスをあとに、市内翠明荘で昼食。「参加してヨガッター」と同期



の絆を確かめ合い、See you!」を合言葉に散会しました。(及川榮一記)

# '06 クローズアップ



「及川」力出し切れた 銀メダルに悔しさ半分  
及川 裕奨(高52回・平成12卒) 岩手日報

### 母校水沢高を訪問 高校時代の思い出語る

アジア大会銀メダリストの及川さん  
ドハ・シナイ大会で、母校水沢高を訪問した。高校時代の思い出を語り、母校の発展に力を尽くす。及川裕奨さん(高52回・平成12卒)が、母校水沢高を訪問した。高校時代の思い出を語り、母校の発展に力を尽くす。

胆江日日新聞

## 追悼 故 河口 洋先輩 (高6回・昭29卒)

岩手日報会長 河口洋氏(高6回・昭29卒)が、平成19年1月11日午前11時、肺炎を患って、87歳で永眠された。ご冥途まで安らかに。ご遺体は、1月13日午後3時から、水沢市水沢区佐倉町、水沢市立斎場にて火葬された。

(記事：岩手日報) 長らく監事として同窓会の発展に貢献されました。謹んでお悔やみ申し上げます。

### 水沢高等学校創立百周年(平成二十二年)に向けて

平成十七年に「岩手県立水沢高等学校創立百周年記念事業推進委員会設立準備会」(代表 長野耕定元PTA会長)を発足し、第一回推進委員会設立準備会議が平成十八年九月三十日(土)に水沢グランドホテルにおいて開かれました。出席者は十六名で、同窓会長、PTA教育振興会会長、歴代PTA会長(九十周年以降)、校長、副校長、事務局長、総務主任、教務主任、生徒指導主任、事務局となっております。協議では、岩手県立水沢高等学校創立百周年記念事業推進委員会の規約・組織について、事務局からの提案をもとに、長時間にわたって審議され、大筋が決定されました。今後は、平成十九年設立総会、平成二十年総会が開催される記念事業の活動が開始しますので、同窓生の皆様のご協力をお願いします。

### 同窓生の著書(図書館寄贈分)

下記のとおり図書を寄贈していただきました。ありがとうございました。平成19年1月末日現在

著者	書名	卒業年
沢村柳子さん	夕日に染まる里の秋	昭42年
高橋純さん	塔の秘密	昭59年

## 県勢功労者に岩崎氏(元県選管委員長)

岩崎 康彌(いわきこ) 岩崎氏は、元岩崎康彌氏(昭27卒)が、功労者に選ばれた。功労者に選ばれた。功労者に選ばれた。

岩崎康彌(高4回・昭27卒) 岩手日報

### 常務理事に朝倉氏 農協中央会

農協中央会が、朝倉氏を常務理事に選出した。朝倉氏は、元朝倉氏(昭27卒)が、功労者に選ばれた。功労者に選ばれた。

朝倉氏(昭27卒) 岩手日報

### 蝦夷の時代を解説 地元出身教諭が講演会

高橋正吾(高22回・昭45卒)が、地元出身教諭として、蝦夷の時代を解説する講演会を行った。高橋氏は、元高橋氏(昭45卒)が、功労者に選ばれた。功労者に選ばれた。

高橋正吾(高22回・昭45卒) 胆江日日新聞

## 清武さん彫刻「らるる」 県芸術選奨

清武さん(高22回・昭45卒)が、県芸術選奨を受賞した。清武氏は、元清武氏(昭45卒)が、功労者に選ばれた。功労者に選ばれた。

清武さん(高22回・昭45卒) 岩手日報

### 新委員長に菅原氏を選出 書記長に瀬川氏

共産党県委員会が、菅原氏を委員長、瀬川氏を書記長に選出した。菅原氏は、元菅原氏(昭43卒)が、功労者に選ばれた。功労者に選ばれた。

菅原氏(昭43卒) 岩手日報

### 奥州市5区長に辞令 新体制

奥州市が、5区長に辞令を出した。新体制が導入された。奥州市は、元奥州市(昭39卒)が、功労者に選ばれた。功労者に選ばれた。

佐藤雅士(高16回・昭39卒) 岩手日報

## 議長に小沢氏、副は渡辺氏

奥州市議会が、議長に小沢氏、副議長に渡辺氏を選出した。小沢氏は、元小沢氏(昭52卒)が、功労者に選ばれた。功労者に選ばれた。

小沢昌記(高29回・昭52卒) 岩手日報

### 新委員長に菅原氏を選出 書記長に瀬川氏

共産党県委員会が、菅原氏を委員長、瀬川氏を書記長に選出した。菅原氏は、元菅原氏(昭43卒)が、功労者に選ばれた。功労者に選ばれた。

菅原氏(昭43卒) 岩手日報

### 奥州市5区長に辞令 新体制

奥州市が、5区長に辞令を出した。新体制が導入された。奥州市は、元奥州市(昭39卒)が、功労者に選ばれた。功労者に選ばれた。

佐藤雅士(高16回・昭39卒) 岩手日報

「啄木かるた二十五首」を作製した



**及川 睦男さん**  
1944年、徳島県徳島市に生まれる。1964年、岡山大学経済学部に入学。1968年卒業後、岡山大学経済学部助教授、1974年助教授、1981年教授となる。1988年、岡山大学経済学部長に就任。2003年、岡山大学名誉教授となる。2010年、岡山大学経済学部長に就任。2015年、岡山大学経済学部長に就任。2018年、岡山大学経済学部長に就任。2021年、岡山大学経済学部長に就任。

岡山大学経済学部長に就任された及川睦男さん。岡山大学経済学部長に就任された。岡山大学経済学部長に就任された。岡山大学経済学部長に就任された。

及川睦男 (高5回・昭和28卒) 岩手日報

本年度の社会教育功労者・文部科学大臣表彰を受けた



**小野 伊豫さん**  
1950年、徳島県徳島市に生まれる。1968年、岡山大学経済学部に入学。1972年卒業後、岡山大学経済学部助教授、1978年助教授、1984年教授となる。1990年、岡山大学経済学部長に就任。2003年、岡山大学名誉教授となる。2010年、岡山大学経済学部長に就任。2015年、岡山大学経済学部長に就任。2018年、岡山大学経済学部長に就任。2021年、岡山大学経済学部長に就任。

岡山大学経済学部長に就任された小野伊豫さん。岡山大学経済学部長に就任された。岡山大学経済学部長に就任された。岡山大学経済学部長に就任された。

小野伊豫 (高女21回・昭和22卒) 岩手日報

事務所「ふれあい横丁」を開設したサポートセンターNPOえさしの理事長



**後藤 明さん**  
1949年、徳島県徳島市に生まれる。1972年、岡山大学経済学部に入学。1976年卒業後、岡山大学経済学部助教授、1982年助教授、1988年教授となる。1994年、岡山大学経済学部長に就任。2003年、岡山大学名誉教授となる。2010年、岡山大学経済学部長に就任。2015年、岡山大学経済学部長に就任。2018年、岡山大学経済学部長に就任。2021年、岡山大学経済学部長に就任。

岡山大学経済学部長に就任された後藤明さん。岡山大学経済学部長に就任された。岡山大学経済学部長に就任された。岡山大学経済学部長に就任された。

後藤 明 (高29回・昭和52卒) 岩手日報



相原正明市長に奥州謙良節を披露する(左から)及川睦雄さん、小野寺寛さん、小野寺寛さん

**新市祝う奥州謙良節**  
制作 歴史や名物盛り込む  
奥州市誕生を記念して、同市水沢区の元小学校長小野寺寛さん(89)校長小野寺寛さん(89)らが、青森県津軽地方の祝歌「謙良節」に独自の詞を付け、「奥州謙良節」を制作。二十二日に市役所を訪れ、日高消防祭や江刺句まつりなどと盛り込んだセットテープを贈呈した。

奥州市誕生を記念して、同市水沢区の元小学校長小野寺寛さん(89)校長小野寺寛さん(89)らが、青森県津軽地方の祝歌「謙良節」に独自の詞を付け、「奥州謙良節」を制作。二十二日に市役所を訪れ、日高消防祭や江刺句まつりなどと盛り込んだセットテープを贈呈した。

小野寺 寛 (高7回・昭和30卒) 岩手日報

「弁護士過疎県」から脱却



**吉田 瑞彦さん**  
1954年、徳島県徳島市に生まれる。1976年、岡山大学法学部に入学。1980年卒業後、岡山大学法学部助教授、1986年助教授、1992年教授となる。2000年、岡山大学法学部長に就任。2008年、岡山大学名誉教授となる。2015年、岡山大学法学部長に就任。2021年、岡山大学法学部長に就任。

岡山大学法学部長に就任された吉田瑞彦さん。岡山大学法学部長に就任された。岡山大学法学部長に就任された。岡山大学法学部長に就任された。

**中高で出前模擬裁判**  
吉田瑞彦 (高26回・昭和49卒) 毎日新聞

「模擬裁判」は、検察官、弁護士、裁判長、被告人、証人、陪審員など、様々な役割を演じて、実際の裁判の様子を再現する。中高生は、この機会に法律の知識を学び、社会常識を身につけることができる。吉田さんは、模擬裁判を通じて、中高生に法律の重要性を伝えることを目指している。

**51歳、東大大学院へ**  
奥州市江刺区の小沢さん

**社会人選抜に合格**  
来春から木造建築を研究

小沢 修 (高25回・昭和48卒) 岩手日報

小沢さんは、51歳で東京大学大学院に入学し、木造建築を専攻する。社会人選抜試験に合格し、来春から木造建築の研究に専念する。小沢さんは、木造建築の魅力を伝えるために、社会人選抜試験に合格した。小沢さんは、木造建築の研究を通じて、社会に貢献したいと考えている。

委員長に高橋氏 教育長に菅原氏

奥州市教育委員会は、委員長に高橋氏、教育長に菅原氏を選任した。高橋氏は、奥州市教育委員会の委員として活動している。菅原氏は、奥州市教育委員会の教育長として活動している。高橋氏と菅原氏は、奥州市の教育の発展に貢献することを誓っている。

菅原義子 (高14回・昭和37卒) 岩手日報

**郷土顕彰に力尽くす**  
第8回胆江日文化賞 水沢の佐藤秀昭さんに きょう本紙創刊60周年



胆江日文化賞を受賞した佐藤秀昭さん。佐藤さんは、郷土の文化を顕彰するために、胆江日文化賞を受賞した。佐藤さんは、郷土の文化を顕彰するために、胆江日文化賞を受賞した。佐藤さんは、郷土の文化を顕彰するために、胆江日文化賞を受賞した。

佐藤秀昭 (高10回・昭和33卒) 胆江日日新聞

**漫画家・吉田戦車さん(水沢) 母校訪れ児童激励**  
作品への質問次々と

吉田 聡 (高34回・昭和57卒) 胆江日日新聞

漫画家吉田戦車さんは、母校を訪れ、児童を激励した。吉田さんは、児童に自身の作品について話した。児童は、吉田さんの話を聞いて、夢を追求する決意を固めた。吉田さんは、児童の夢を応援するために、母校を訪れた。

**古里守る女性消防士**  
奥州・江刺の千葉さん

**胆江地区で初採用**  
亡き祖父の志受け継ぐ

千葉 沙緒理 (高54回・平成14卒) 岩手日報

千葉さんは、胆江地区で初採用された女性消防士。千葉さんは、亡き祖父の志を受け継ぎ、消防士として活躍している。千葉さんは、消防士の仕事を通じて、社会に貢献したいと考えている。

# 世界の姿見つめて

**「世界の姿見つめて」**  
 世界の姿を見つめて、その奥にある文化や歴史、そして人々の生活の姿を捉えよう。今回は、国際的な視点から見た日本の現状と未来について、専門家による見聞を掲載する。

**「世界の姿見つめて」**  
 世界の姿を見つめて、その奥にある文化や歴史、そして人々の生活の姿を捉えよう。今回は、国際的な視点から見た日本の現状と未来について、専門家による見聞を掲載する。

## 世界平和 いかにおく



**及川 仁** (高32回・昭和55卒) 岩手日報  
 及川 仁(いかわひとし)さん、早稲田大学第一文学部、経営学専攻卒業。その後、1987年外務省に入省。外務省国際協力局、国際協力本部、国際協力機構(JICA)で勤務。現在は、国際協力機構(JICA)の国際協力官として、海外に派遣されている。

及川 仁(高32回・昭和55卒)岩手日報

## 佐藤 隆さん(7)



**佐藤 隆** (高7回・昭和30卒) 胆江日日新聞  
 1935(昭和10)年、水沢区静養町生まれ。早稲田大学卒業後、東京府立総合高等学校の教員を務めた。その後、NPO「環境いばり」の代表理事として活動。現在は、環境保護活動に取り組んでいる。

佐藤 隆(高7回・昭和30卒)胆江日日新聞

## 鳥海 恭司さん(49)



**鳥海 恭司** (高27回・昭和50卒) 胆江日日新聞  
 1956年生まれ。埼玉大学経済学部卒業。その後、東京府立総合高等学校の教員を務めた。現在は、教育関係の活動に取り組んでいる。

鳥海 恭司(高27回・昭和50卒)胆江日日新聞

## 及川 文利さん(40)



**及川 文利** (高36回・昭和59卒) 胆江日日新聞  
 1955(昭和30)年生まれ。早稲田大学卒業後、公務員として勤務。現在は、公務員から行政書士に転じた。現在は、行政書士として活動している。

及川 文利(高36回・昭和59卒)胆江日日新聞

# 考えたい食の意義



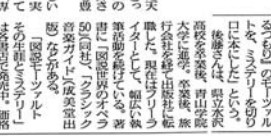
**藤田和芳** (高17回・昭和40卒) 岩手日報  
 藤田和芳(ふじわらかずゆき)さん、早稲田大学卒業。現在は、食の分野で活動している。食の意義について、自身の経験から語っている。

**食の本質地域で豊かに**  
 食の本質は、地域に豊かにある。食の文化は、地域の歴史や風土を反映している。食を通じて、地域の魅力を発信し、地域を豊かにしよう。

**岩手の良き、具を挙げて**  
 岩手県には、多くの良き食材がある。それらを積極的に取り入れ、食の文化を豊かにしよう。

藤田和芳(高17回・昭和40卒)岩手日報

## モータルに迫る



**後藤真理子** (高28回・昭和51卒) 胆江日日新聞  
 後藤真理子(ごとうまりこ)さん、早稲田大学卒業。現在は、人物像テーマに図説出版に取り組んでいる。

後藤真理子(高28回・昭和51卒)胆江日日新聞

## 日高火防祭がCDに



**日高火防祭**がCDに  
 「奥州ひがせまつり」「奥州日高囃子」の2曲収録し発売へ。活性化、願い込め。水沢観光協会。

三浦千恵(高11回・昭和34卒)胆江日日新聞

## 心技体



**藤村貴之** (高52回・平成12卒) 胆江日日新聞  
 藤村貴之(ふじむらたかゆき)さん、早稲田大学卒業。現在は、心技体の活動に取り組んでいる。

藤村貴之(高52回・平成12卒)胆江日日新聞

## 私が歩んだ道



**吉田克郎** (高7回・昭和30卒) 胆江日日新聞  
 吉田克郎(よしだかつら)さん、早稲田大学卒業。現在は、自身の歩んだ道について語っている。

吉田克郎(高7回・昭和30卒)胆江日日新聞

**郷土の本棚**  
**ワンダフル・ライフ**  
 命見つめる細やかさ  
 中嶋 真理著  
 「ワンダフル・ライフ」は、命の尊厳と価値をみつめるための一冊。日々の生活の中で、命の大切さを改めて感じたい。

中嶋真理(高29回・昭和52卒)岩手日報

**郷土の本棚**  
**詩集 乳粥**  
 人間の生の根源探る  
 朝倉 宏哉著  
 「乳粥」は、人間の生の根源を探るための一冊。詩を通じて、人間の存在意義を問いかける。

朝倉宏哉(高8回・昭和31卒)岩手日報

平成18年度部活動の記録

《運動部》

- 野球
・春季高校野球県大会
・全国高校野球選手権岩手大会
・秋期高校野球県大会
○陸上競技
・県高総体
・陸上競技 8種競技
・陸上競技 7種競技
○卓球
・県高総体
・男子団体
・女子団体
○バドミントン
・県高総体
・男子
・女子
○ハンドボール
・県高総体
・男子
・女子



(佐藤千恵美・千田七瀬組 インターハイにて)

- 女子団体 シングルス
女子個人 シングルス
女子個人 ダブルス
女子個人 ダブルス
女子個人 ダブルス
女子個人 ダブルス
女子個人 ダブルス

- 音楽
・全日本合唱コンクール岩手県大会
・Bグループ
○演劇
・高総文祭演劇部門県南ブロック発表会
○囲碁・将棋
・全国高校囲碁選手権県大会
・男子団体
・女子団体



(打楽器6重奏 東北大会にて)

- 女子100M平泳ぎ
200M平泳ぎ
100Mバタフライ
石川香澄
東北新人水泳大会
男子100M平泳ぎ
木村真二

《文化部》

- 吹奏楽
・吹奏楽コンクール県南地区大会
・Aクラス
・全日本アンサンブルコンテスト
・打楽器6重奏
・打楽器6重奏
○文化祭
・全国高総文祭
・千田瑠美
・飯坂南美
・スライドフォトコンテスト
・佐藤結
○写真
・全国高総文祭
・千田瑠美
・飯坂南美
・スライドフォトコンテスト
・佐藤結

平成18年度(1月末日現在)激励金交付一覧

Table with columns: 交付日 (Delivery Date), 部活 (Department), 大会名 (Competition Name), 場所 (Location), 備考 (Remarks). Lists various events and the names of students who received incentive money.

- バレーボール
・県高総体
・男子
・女子
○バスケットボール
・県高総体
・男子
・女子
○ラグビー
・県高総体
・男子
○柔道
・東北弓道大会
・菊地美保子
○弓道
・県高総体
・男子
○水泳
・県高総体
・男子
・女子

# 後輩も頑張っています

## 最近 5 年間の大学合格状況

大学名	卒業年	18	17	16	15	14
国立	延人数	169	150	160	137	121
	実人数	166	145	153	135	120
私立	延人数	209	148	210	233	220
北海道		1	1	2	0	2
弘前		10	7	11	8	6
岩手		28	27	34	28	20
東北		16	11	11	7	5
宮城教育		3	1	3	0	1
秋田		11	7	5	3	4
山形		14	8	14	9	2
福島		6	11	9	8	10
茨城		5	5	0	6	5
筑波		3	2	2	1	3
宇都宮		3	11	6	8	4
埼玉		3	5	5	7	5
千葉		2	2	2	0	1
東京		1	0	1	0	0
東京外国語		1	0	2	0	0
東京工業		1	0	0	0	0
一橋		2	2	2	0	0
横浜国立		2	2	0	3	1
岩手県立		12	15	17	16	13
東北学院		24	22	36	20	19
青山学院		5	2	3	3	1
慶應義塾		3	0	0	1	0
中央		4	6	8	6	7
法政		7	2	3	3	4
明治		7	2	7	8	9
早稲田		8	7	7	6	6

### 平成十八年度 職員異動

- ◆転入
- 志村 菊次郎 (事務長) 水沢教育事務所
  - 岡市 武 (体育) 盛岡一
  - 佐藤 功司 (理) 盛岡北
  - 阿部 善一 (英) 宮古
  - 千葉 勝英 (体) 大槌
  - 君成田隆房 (理) 新採用
  - 千葉 紀一 (数) 常勤講師
  - 添田 拓雄 (理) 常勤講師
  - 鱒沢 直美 (国) 常勤講師
  - 昆 憲治 (国) 常勤講師
  - 千葉 昌子 (実) 胆沢
  - 照井 美香 (事) 遠野
  - 佐藤 好孝 (理) 非常勤講師
  - 島田 政美 (家) 非常勤講師
  - 千田美千代 (音) 非常勤講師
- ◆転出
- 村木 吏 (理) 久慈東(副校長)
  - 客本 雄二 (理) 山田
  - 岩井 昭 (数) 県教委

### ◆「注意願います」◆

最近、同窓会および学校の名をかたつて、「同窓生名簿を作り直すため」などとして、卒業生の連絡先を聞き出そうとする電話が、卒業生の実家などに頻繁にかかってくる場合があります。中には「同窓会の〇〇だが「事務室の〇〇だが」と偽名を名乗ってしつこく聞き出そうとするケースもあるようです。同窓会および学校から卒業生・在校生に関する個人情報を出すことは一切ありませんので、どうか注意下さい。なお、ご家族の皆様にも注意下さるようお願いいたします。

- 菅原 桂吾 (国) 教育センター
- 小田中達夫 (体) 花巻南
- 寒河江和広 (英) 久慈
- 佐々木望微 (音) 黒沢尻工
- 高野 千尋 (実) 盛岡高等養護
- ◆退職
- 岩淵 政志 (事務長)
  - 佐藤真理子 (事務)
  - 野 久雄 (理)
  - 東郷 司 (理)

### 平成19年度 岩手県立水沢高等学校 同窓会 総会

日時 平成19年 8月11日(土) 15:00より  
場所 水沢グランドホテル 水沢区東町40 電話 (25)8311

### ◆事務室からのお知らせ◆

平成19年4月から、卒業生等が卒業証明書等の交付を受ける場合、手数料が必要になります。一通あたり、400円分の岩手県収入証紙(購入場所：岩手銀行、市役所、各地方振興局)を添付して申請して下さい。詳しくは事務室までお問い合わせ下さい。

### 編集後記

今回の同窓会報は、誌面を拡大し、大きめの封筒に折らずに封入するよう変更し、内容もなるべく文字が多すぎないよう工夫することでも読みやすくなりました。ご留意して作成致しました。先輩諸氏にも見応えのあるような、かつ水高生時代に思いを馳せる助けとなるような会報づくりを来年度以降も目指していきたいと存じます。

### ◆「寄付」について

近年同窓会会計は、会員数の増加に伴う会報発行経費の増大などにより、苦しい運営を迫られております。そこで、会報に郵便振替用紙を同封させていただきます。任意のご寄付へのご協力をお願いいたします。任意にもかかわらず多数の方々のご協力をいただいております。今年度は同窓会・育英会あわせて計二百九万三千二百五十円(平成十九年一月末日まで)ものご寄付を頂戴いたしました。大変ありがとうございました。皆様からの浄財は、会の運営に加え百周年事業の貴重な財源とさせていただきます。今後とも、金額はおいくらでも構いませんので、ご協力願えれば幸いです。

※強制的なものではなく、あくまで任意のご協力をお願いであることを申し添えます。

### 郵便振替口座

- 水沢高等学校同窓会 (いずれかお選びください)
- 0225001162903
- 水沢高等学校育英会
- 023400213773

### ◆お願い

「宛先不明」で戻ってくる会報が多くなりました。住所変更の際には、お手数ですが本校(電話0197(22)3152)ファックス0197(22)3036 または e-mail yuki.nokishi@msw-h.wate-ed.jp)まで「一報下さるようお願い致します。なお、お知らせの会報が届かないという方がおられます。前記連絡先をご紹介下さいますようお願いいたします。